

# 社外取締役メッセージ



社外取締役(筆頭・独立)  
監査等委員

はやかわ たかゆき  
**早川 貴之**

## グローバル経営の進展に向けた 研究開発力・人的資本・グループガバナンス強化を

2022年度は、中期経営計画の初年度でもありましたが、緩和に向かったとはいえコロナ禍・原材料価格高騰等厳しい環境の中、常盤社長以下全社員一丸となり4つの戦略の具体的な取り組みを地道に行った結果、業績が堅調に推移し売上・収益ともに過去最高の水準となりました。

また、戦略のひとつとして「環境/社会課題解決への貢献」を掲げ、サステナビリティ委員会を立ち上げ、幅広い層との議論も踏まえ取り組みを一層推進できる体制も確立されました。

こうした中で独立社外取締役として、取締役会、経営会議、監査等委員会、指名・報酬委員会等重要な会議への出席のほか、代表取締役との意見交換、コロナ禍での海外拠点主体のリモート会議、工場監査に伴う現場社員との面談、会計監査人との情報交換等積極的に取り組んでまいりました。

また、会社サイドも工場・研究所での取締役会を開催し、その後決められたテーマに沿ったディスカッションの場を現場管理職と設ける等積極的に機会を提供しています。

当社の経営理念「リケンテクノス ウェイ」で示されている「チャレンジメーカー」としてのオープンで実直・勤勉な社風を踏まえ、引き続き研究開発・技術力強化に注力し、さらに人的資本の充実が求められています。また、売上における海外比率も50%を超える水準になる等、業容拡大とグループ内部統制のバランスも踏まえ、グループガバナンス強化に資するべき、ステークホルダーの皆様の目線を大切に、経営に対し独立した立場から監査・監督等の助言を行っていききたいと思います。

## グローバル経営とサステナビリティ対応の更なる飛躍へ

当社はミッションに「私たちは科学の力で豊かさ、安心、快適を創り出すチャレンジメーカーです。」と謳っています。創業以来培われてきた合成樹脂加工技術をベースに、広範な領域で暮らしを向上させる役割を果たしてきました。社外取締役としては、企業を取り巻く環境が、かつてないほどのスピードとスケールで変化中、「チャレンジメーカー」としての真価が従来にも増して問われる時代に入ったものと捉えています。こうした状況認識のもと、私が着目してモニタリングを行っている取り組みを2点挙げたいと思います。

一点目は「グローバル経営の深化」です。当社は現行の中期経営計画で海外売上高比率を50%以上にするという目標を据え、その中で「グローバル経営の深化とシナジー」という戦略のもと様々な施策に取り組んでいます。製造業の常ともいえますが、海外拠点で「製造、営業、管理」を高いレベルで等分にマネージできる人材は、当社においても決して豊富という訳ではありません。「人的資本」「人材育成」の重要性が声高に叫ばれる以前から、当社はこの課題に着手していますが、グローバル経営の更なる飛躍を期すうえで、私はこの点に注目しています。

二点目はサステナビリティです。科学的に化学と向き合うメーカーとして、環境問題をはじめとする社会的課題への対応は必須となります。コロナ禍に注目を集めた抗菌、抗ウイルスフィルムの「リケガード®」は、コロナパンデミック以前に開発された製品ですが、当社の社会的課題に対する不断の技術開発力の一端を示す結果となりました。サステナビリティは大きなテーマであり新たな課題の出現も予想に難くありませんが、こうした姿勢を堅持し持続可能な社会の実現に向けてミッションを貫いてほしいと願っています。



社外取締役(独立)  
監査等委員

なかむら しげはる  
**中村 重治**



社外取締役(独立)  
監査等委員

えはら しげる  
**江原 茂**

## VUCAの時代だからこそ信念に基づいた経営を

当社はとにかく活気のあるオープンな社風であり、トップをはじめとする役員から実状や課題が社外役員にありのまま伝えられるので、業務執行を肌で感じながら取締役会その他の論議に臨んでいます。

国内で70年以上に渡り培ってきた樹脂素材の配合加工技術を核として、アジア、米国等にも製造販売拠点を構えるプラスチック素材メーカーである当社は、現在売上高の50%以上を海外であげています。今後も国内、米国はもとより、ASEANをはじめとするアジア諸国をメインターゲットとしてチャレンジを継続して、新しい価値の提供や環境への優しさを通じてしなやかな成長を目指す方向性は妥当と捉えていますが、ここ数年の周辺環境は気候変動、ウイルスの世界的な感染拡大、武力侵襲からグリーンエネルギー革命、DX等、VUCAと呼ばれる混迷が続いており、過去だけにとらわれない発想とスピード感がますます重要になります。こうした状況下で人的資本の重要性は十分に認識されており、育成機会や活躍できる場・環境の充実から、人材獲得に向けた各種施策が講じられているとともに、今後は「長期ビジョン」や「リケンテクノス ウェイ」が多様化する人材の道標の役割を果たすものと考えています。

当社が国内外情勢を俯瞰したうえで、信念に基づいた機関決定をして行くために、攻守のバランスのとれたグループガバナンスにも目を配りながら具申、助言をしていく所存です。

## 真摯な議論を通じた良質なコーポレート・ガバナンスの醸成に向けて

2022年に社外取締役に就任し、取締役会をはじめ経営会議等に出席しました。当社では重要な経営課題について十分な時間をかけて真摯な議論を行い、ガバナンスの強化に努めています。指名委員会および報酬委員会は過半数が社外取締役に構成され、公正な意思決定が担保されています。

気候変動やコロナなど難しい社会情勢の下、企業は事業を成長させつつSDGs、ESGに対応することが求められています。当社が創業当時から引き継いでいるベンチャー精神は今「チャレンジメーカー」という経営理念の根幹に進化しました。その精神を礎として持続可能な社会を実現すると同時に企業価値の向上を目指す企業行動規範が制定されており、中期経営計画ではそのための施策を具現化しています。

VUCA時代といわれる現在、変化の識別およびその対応が求められます。当社では環境に配慮した安全かつ機能的な製品の開発に注力し、研究開発センターを充実させました。さらに新規事業開発準備室を設置し、事業の多様化と拡大に取り組んでいます。

海外売上比率が50%を超える中、更なるグローバル化推進のため国内外の人材育成が必須の課題と認識し、将来の経営を担う人材や女性管理職の育成、コンプライアンス意識の深化、健康増進などのプログラムを用意しています。

これからも、会計士として30年以上培ってきた経験を活かしつつ、ステークホルダーの皆様との立場で、当社の様々な施策の成果を注視し、良質なコーポレート・ガバナンスの醸成に資するよう公正かつ率直な意見を発信してまいります。また当社初の女性取締役として、微力ながら女性活躍の応援ができたかと考えております。



社外取締役(独立)  
監査等委員

すえむら  
**末村 あおぎ**